

目 次	
1. talk, phoneの公開について (UTS) .....	1
2. かな漢字変換フロントエンドプロセッサ-Wnnの公開について (UTS) .....	2
3. メール・ハンドリング・システムMHの公開について (UTS) .....	3
4. C++トランスレータの公開について (UTS) .....	4
5. 日本語EMACSの機能追加について (UTS) .....	4
6. IPEX入門講習会の開催について .....	5
7. トーマス・マン・ファイルとゲーテ・ファイルの検索講習会の開催について .....	6

### 1. talk, phoneの公開について (UTS)

標記のコマンドは共にユーザ間でリアルタイムで会話ができるものです。9月1日(金)より公開しています。

会話用には既にwriteコマンドがありますが、talk, phone両コマンドは画面を自分用と相手用に分割して使いますので、使い勝手が良くなっています。なお、漢字は入力できません。

#### 1. talk

コマンド形式    talk    user    [tty]

会話相手が複数の端末を使用している場合はtty名(whoコマンドなどで確認する)まで指定します。talkコマンドで話かけられた相手の端末にはメッセージとベル音が出力されますので、同じくtalkコマンドで応答します。会話の終了は^Cで行います。

#### 2. phone

コマンド形式    phone    user@host    [tty]

このコマンドはtalkと同様に使いますが、LAN上の他のマシンのユーザとも会話ができます。この場合はユーザ名は" user@host"で指定します。また3人以上で会話が可能です。

2人のユーザが会話しているときに別のユーザを会話に参加させるにはESCを押してコマンドモードにして call user@host [tty] で呼びかけます(もう一度ESCを押すと会話モードに戻ります)。呼びかけられたユーザはphoneコマンドで応答します。会話の終了は^Cを入力します。本当に終了するかの確認が求められるのでyで応答すれば、phoneコマンドを終了します。

(ライブラリ室 電(内) 2508)

## 2. かな漢字変換フロントエンドプロセッサWnnの公開について(UTS)

Wnnは京都大学、ASTEC、立石電機が開発したかな漢字変換フロントエンドプロセッサです。標記システムをUTS上で9月1日(金)より公開しています。

コマンド形式      wnn     $\begin{bmatrix} -u \\ -j \\ -s \end{bmatrix}$      $\begin{bmatrix} -U \\ -J \\ -S \end{bmatrix}$     -Dkyu-c

### ・内部漢字コード設定

- u: ujiscコード(省略時)
- j: jiscコード
- s: シフトjiscコード

### ・端末漢字コード設定

- U: ujiscコード(省略時)
- J: jiscコード
- S: シフトjiscコード

パソコン端末を利用し、日本語の入出力はjstty -s -t -Jを設定してUTSを使っているときは、単にオペランドなしでWnnを起動してください。かな漢字変換モードにするには^¥を入力します。通常のモードでexitを入力すれば、Wnnを終了します。ローマ字かな変換でひらがなを入力して^Wで漢字に変換します。

入力キー	機能	修正モード時
	ひらがな入力モード時	
^W	変換	変換
^L	確定	確定
^F	カーソルを右へ移動	文節表示を右へ移動
^B	カーソルを左へ移動	文節表示を左へ移動
^N	-	次候補を表示
^P	-	前候補を表示
^D	1文字消去	-
^E	カーソルを右端へ移動	文節表示を右端へ移動
^A	カーソルを左端へ移動	文節表示を左端へ移動
^K	カーソル位置以降消去	修正モードからひらがな入力モードへ

^ O	-	文節を1文字増やす
^ I	-	文節を1文字減らす
^ G	-	全候補表示
^ ¥(\\)		変換モードのON/OFF

なお、このWnnは動作する端末が限られています。当センターで動作を確認しているのは端末タイプがvt100及びwtttykのみです。他の端末からWnnのかな漢字変換システムを使う場合はEMACSのEGGを利用してください。

(ライブラリ室 電(内) 2508)

### 3. メール・ハンドリング・システムMHの公開について (UTS)

標記システムをUTS上で9月1日(金)より公開しています。MHは効率的に自分に届いたメールを整理・保存するツールです。MHは30個以上のコマンド群からなります。これらのコマンドはシェルレベルで投入します。

代表的なコマンド

<b>f o l d e r</b>	ホルダーの状態表示
<b>f o r w</b>	メールの転送
<b>i n c</b>	メールのホルダーへの読み込み
<b>n e x t</b>	次のメールの表示
<b>p r e v</b>	前のメールの表示
<b>r e p l</b>	メールの返事の作成
<b>r m m</b>	メールの削除
<b>s c a n</b>	ホルダー内のメールの概略情報出力
<b>c o m p</b>	メールの作成
<b>s h o w</b>	メールの表示

MHを利用するにはまずpathの追加が必要です。 . c s h r c のなかでpathを追加しておくとう便利です。なお、富士通提供コマンドの中に/usr/amdahl/bin/scan(関数の定義・呼出に対するc言語プログラムの検索)がありますので、MHのコマンドを優先させる場合は/usr/amdahl/binより先にパスを設定してください。

```
set path = (/usr/local/bin/mh $path)
```

初めてMHを利用する場合は一度incコマンドを投入してください。そうするとMHが利用するファイルやディレクトリを作成してくれます。各コマンドの説明はmanコマンドで参照してください。

なお、EMACSからMHが利用できます。EMACSを起動してmh-rmail(自分に届いたメールの整理・保存)、mh-smail(メールの作成・送信)コマンドを投入してください。

(ライブラリ室 電(内) 2508)

#### 4. C++トランスレータの公開について (UTS)

標記トランスレータを9月1日(金)より, UTS上で公開しています. C++言語はC言語の後継言語として米国AT&T社ベル研究所で開発された汎用プログラミング言語です. C++は細かい点を除けば, Cのスーパーセットになっています. C++トランスレータはC++言語で書いたものを中間的にC言語に変換して, 更にCコンパイラで処理します. コマンド名はCC(大文字)です. 詳細については下の文献を参照してください.

使用例

```
% cat test.c
#include <stream.h>
main()
{
cout << " test\n" ;
}
% CC test.c
% a.out
test
%
```

#### 参考文献

B. Stroustrup, " The C++ programming language", addison-wesley, 1986

(ライブラリ室 電(内) 2508)

#### 5. 日本語EMACSの機能追加について (UTS)

UTSのEMACS上でWnnのサーバと通信してかな漢字変換を行うシステムEGG(たまご)を9月1日(金)から公開しています. EMACSを起動した後^ヾを押してかな漢字変換モードに切り替えます. また^ヾを押せば通常モードに戻ります. キー操作はWnnとはほぼ同様です. 詳しい使い方は /usr/local/doc/egg を参照してください.

(ライブラリ室 電(内) 2508)

## 6. IPEX入門講習会の開催について

標記講習会を下記の要領で開催致しますので、受講希望者は、共同利用掛（電（内）2505）にお申し込みください。

### 記

- ・日 時 9月28日（木） 10時～16時
- ・受付時間 9時30分～9時50分
- ・対 象 センター利用経験者
- ・募集人員 30名
- ・内 容 1. 画像情報サブシステムFIVISの概要  
2. 画像処理エキスパートシステムIPEXの使用法
- ・会 場 大型計算機センター・多目的講習室（3階）
- ・講 師 九大大型計算機センター 第二業務掛 河津 秀利，橋倉 聡
- ・テキスト センターで用意
- ・時 間 割

10:00                      12:00 13:30                      14:30                      16:00

IPEX 概要	IPEX 使用法	昼 休 み	IPEX 使用法	実 演 (2F FIVIS用 端末にて)
------------	-------------	-------------	-------------	----------------------------

- ・申し込み期間 9月18日（月）～22日（金）  
(なお、募集定員に達し次第締め切ります。)

## 7. トーマス・マン・ファイルとゲーテ・ファイルの検索講習会の開催について

標記講習会を下記の要領で開催致しますので、受講希望者は、共同利用掛（電（内）2505）にお申し込みください。

### 記

- ・日 時 10月5日（木） 10時～16時
- ・受付時間 9時30分～9時50分
- ・対 象 初心者
- ・募集人員 30名
- ・内 容 (1) テキストデータベース管理システムSIGMAの概説  
(2) トーマス・マン・ファイルおよびゲーテ・ファイルの検索の説明と  
実習
- ・会 場 大型計算機センター・多目的講習室（3階）
- ・講 師 九州大学 言語文化部 樋口 忠治, 九州大学 教養部 宮原 哲浩
- ・テキスト センターで用意
- ・時間割

10:00 12:00 13:30 16:00

SIGMAの概説と 検索法の説明	昼 休 み	実 習
---------------------	-------------	--------

- ・申し込み期間 9月21日（木）～27日（水）  
(なお、募集定員に達し次第締め切ります。)